

CT 検査をお受けになる患者さまへ

① CT 検査とは

CT 装置に身体を入れて、エックス線を照射し、コンピューターで処理し輪切りの画像が得られる検査です。CTは胸部ですとおよそ 4 秒、腹部全体をわずか 10 秒での撮影が可能です。ですので、広範囲の検査にとっても有用です。また、MRIでは骨や肺の描出が難しいので、骨や肺の状態を観察したい場合にはCTが適しています。

CT 検査には造影剤というお薬を使用しないで撮影する方法(単純 CT)と造影剤というお薬を静脈注射して撮影する(造影 CT)2種類の検査があります。

造影剤とは⇒造影剤は、検査する部位(臓器)をより詳しく調べる目的で使用するお薬です。

②造影 CT 検査をお受けになる前に

○水やお茶などの水分はお飲みいただいて結構です。ただし、お腹の検査の場合はコーヒー等のカフェイン飲料はお控えください。

○検査当日の食事はお腹の検査の場合は検査時間の3時間前まで済ませてください。それ以外の検査は通常通り摂って頂いて結構です。

次に該当する方は事前にお知らせください

○ペースメーカー(メトロニック社製 InSync8040)または、埋め込み型除細動器(ICD)を使用している。

○現在、妊娠もしくはその可能性がある

③検査前の準備

○検査当日は検査予約時間の30分前に紹介状をご持参のうえ直接放射線科受付へお越し下さい。

○金属は検査のさまたげになる場合がありますので、金属のついた服や下着、貴金属は外して頂く事があります。CT 室に検査着を常備しておりますので、不明な点がございましたら担当技師におたずねください。

④検査開始・検査中のお願い

○検査時間は検査部位によって異なりますが約 5~10 分程度です。

○胸部および腹部の検査では息止めがあります。(4 秒~10 秒程度)

○造影検査の場合、注入中、熱感を感じますが、正常ですのでご安心して検査をお受けください。

担当技師、看護師が造影剤注入時、注視しておりますので、造影剤の副作用は極めて少ないお薬ですが、吐気などの気分不良を感じた場合、必ずお知らせ下さい。また、撮影中に気分不良になられた場合も装置にマイクがついておりますのでマイクを通じてお知らせください。

⑤検査終了後は

○通常通りの生活を送っていただいて結構です。

○造影剤は尿として排泄されますので、排泄を促進させるため水分を多めにとってください。

○造影検査を終えられてご帰宅されてから、頭痛、発疹、吐気などの症状が現れる場合がございます。何か異常が見られましたら当院にご連絡ください。

